

北海道浮魚ニュース

平成 21(2009)年度 14 号 (通巻 No. 285)

2009 年 8 月 28 日

北海道立水産試験場

ホームページ : http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki_index.htm

◎道東太平洋スルメイカ資源調査結果

- ・スルメイカは道東太平洋沿岸に広く分布。
- ・分布密度は前年より低いですが、広尾沖と浜中沖で高密度。
- ・前年よりやや大型。

- ・調査期間 : 2009 年 8 月 18~27 日
- ・調査海域 : 道東太平洋沿岸
- ・調査船 : 北辰丸 (釧路水産試験場)
- ・調査方法 : イカ釣機 5 台を用いた約 3 時間半の夜間操業

1. スルメイカの分布密度

スルメイカは道東太平洋の 10 調査点すべてで漁獲され、十勝沖から根室沖までの広い海域に分布していることが確認されました(図 1)。各調査点のスルメイカの分布密度(イカ釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数)は 0.17~27.58 で、広尾沖と浜中沖で 20 以上の高い分布密度がみられました。全調査点の平均分布密度は 5.69 で、前年(7.35)を下回りました(図 2, 表 1)。

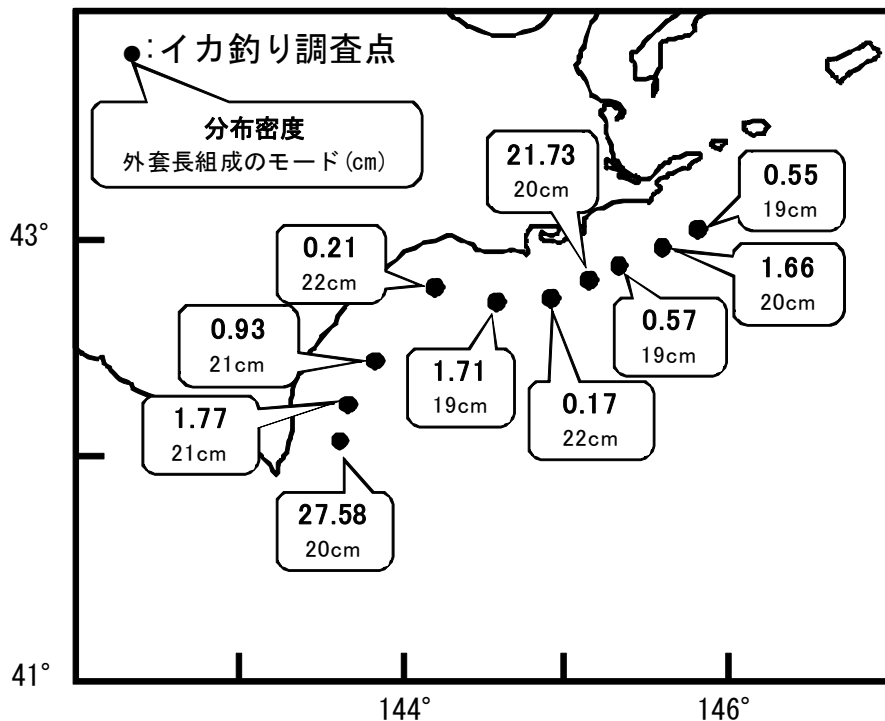


図 1 2009 年 8 月の道東太平洋におけるスルメイカの分布密度と外套長組成のモード

- ※ 分布密度は CPUE (イカ釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数) で示した。
- ※ モードとは最も多く漁獲されたイカの大きさ。

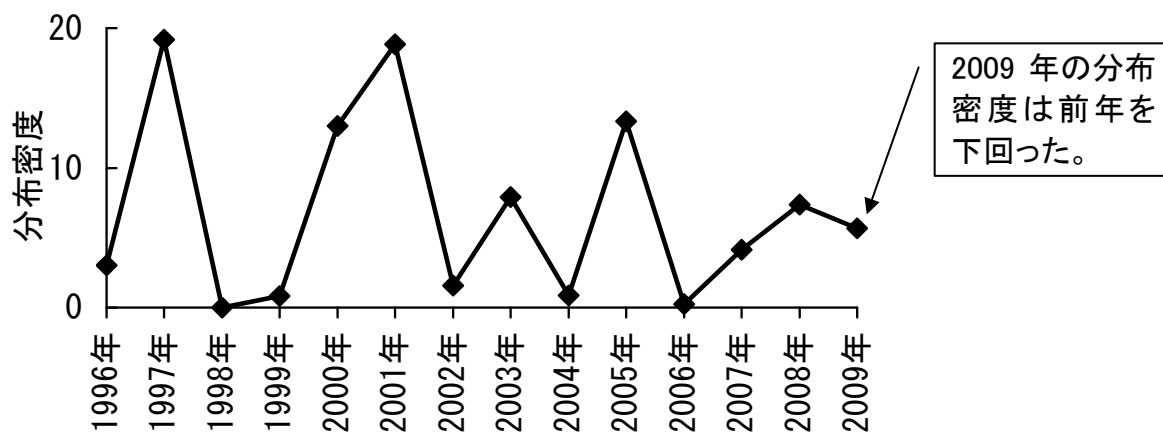


図2 8月の道東太平洋におけるスルメイカの分布密度
※全調査点の平均分布密度の経年変化を示した。

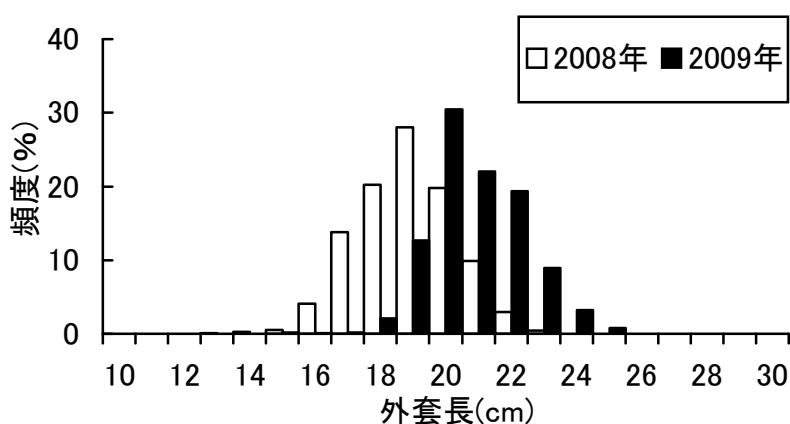


図3 8月に道東太平洋で漁獲されたスルメイカの外套長組成

2. スルメイカの大きさ

全調査点での外套長(胴長)の組成のモードは 20cm で、前年(19cm)より大きくなりました(図3, 表1)。調査点別の外套長組成のモードは、釧路以西で20cm以上、釧路以東で20cm以下が多くなっており、釧路以西の方がやや大きい傾向がみられました(図1)。

3. 表面水温

調査海域の10調査点の表面水温は13.6~16.3℃, 平均14.7℃で、前年(15.5~17.1℃ 平均15.6)より1~2℃ほど低くなっていました。

表1 2005~2009年のスルメイカ調査結果

調査日程	調査点数	漁獲尾数	平均 CPUE	外套長	
				範囲(cm)	モード(cm)
2005年 8/23~30	8	2,418	13.32	16-24	19
2006年 8/22~28	8	36	0.23	17-24	21
2007年 8/21~28	8	607	4.16	16-25	20
2008年 8/25~29	8	1,197	7.35	13-23	19
2009年 8/18~27	10	581	5.69	15-25	20

○本調査結果と各研究機関の調査結果をもとにして、第2次スルメイカ漁況予報が9月下旬に発表されます。(文責:釧路水産試験場資源管理部, TEL:0154-23-6222, FAX:0154-23-6225)